

APPENDIX

実際の無線システムで使われている エラー訂正符号の例

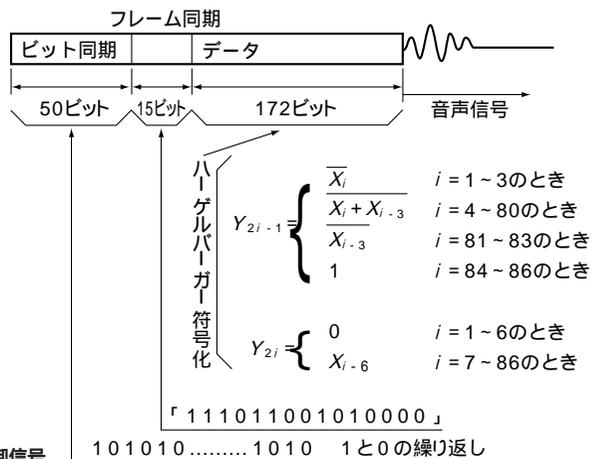
A.1 ハーゲルバーガ符号

簡易無線のなかで、写真A-1のような900MHz帯の周波数を使うパーソナル無線があります。簡易免許が必要で、それに伴い個別のID番号（コールサイン）が与えられます。簡単な手続きで、比較的大きな出力を出せるため、CBトランシーバに代わるものとして、期待されました。実際には、携帯電話の普及の影で思ったように普及はしていないようです。

簡易無線の場合は、法律で送話に先立って個別ID番号を含む情報を送信する必要があります。パーソナル無線の場合も1,200bpsのMSK変調でその情報ビット列を送ります。ビット列は図A-1のような並びになっています。詳しい規格はRCR STD-11としてまとめられ、(社)電波産業会より誰でも購入することが可能です。



写真A-1 パーソナル無線機



図A-1 パーソナル無線制御信号